

■第130回 IR セミナー■

コーポレートガバナンス・コードとなでしこ銘柄！

2015年3月19日開催

◆ なでしこ銘柄選定

「なでしこ銘柄」が発表になりました。
その選定方法や意義について・・・

◆ コーポレートガバナンス・コード原案読み合わせ

コーポレートガバナンス・コードについては、6月からの発効、ただし年内の猶予期間、ということで、いよいよ始まります。

実行するか、実行しない理由を説明するか（コンプライ or エクスプレイ）・・・
項目によって、決めていかないとはいけません。

特に東証1部2部の企業は、「基本原則」、「原則」、「補充原則」のすべてについてですから、たいへんです。

マザーズ、ジャスダックの企業も基本原則については姿勢を明確にしなくてはなりませんし、原則や補充原則も無視はまずいかもれません。

資本政策の方針や、取締役や幹部職員の選定方針、報酬の決定方針、などなど、文面を検討に入ったほうが良いですね。

また、コーポレートガバナンス報告書などで開示をしなくてはならない項目もあり、各社とも、議論を深めなくてはなりません。

どこでもそうですが、まずは事務方に「案を出せ！」と社長は言いますからね。それが一番大変なのに・・・。

そこで今回は、コード原案の注目すべき項目について、読み合わせ&ディスカッションをしました。

◆ 新聞記事より

★議決権行使アドバイザーのISSIが、ROEが連続して5%を割っている企業には、代表者についての信任をしないよう、アドバイスすると発表しています。

★マイナンバーへの企業対応が遅れているのでは・・・？との記事が。マイナンバーが始ると従業員の「番号」を管理しなくてはなりませんよ。

★ファナックが株主との会話に乗り出すとか、ガバナンスコードやスチュアードシップコードの効き目が出てきていますね。

◆ 直近の市場日程とレーティング動向

DeNAが、任天堂との提携でレーティングを上げています。コロプラなどが苦戦？という記事もありますが、どうでしょう。

◆ 直近の大量保有報告書

話題の大塚家具や、村上氏一派のレノ、その他中国系ファンドも動きが活発化した一か月でした。
